

英語教師の リソース

RESOURCES FOR
ENGLISH TEACHERS

チャンツを 活用しよう

稲岡章代 Inaoka Fumiyo
(兵庫県姫路市立豊富中学校)

授業でよくチャンツを活用します。英文の快いリズムやイントネーションを通して、英語独特のストレスの置き方や表情のつけかたを学べるとともに、教室内の雰囲気明るくし、活気ある学習態勢を整えることができます。チャンツは生徒にも大人気です。そこで本稿では、授業で利用するのに便利なチャンツが掲載されている本をご紹介します。

まずは *READY for Learning World* (中本幹子著、アプリコット社) です。この本は幼児向けに書かれたものと思われませんが、楽しいチャンツを見つけることができます。その中から生徒の興味を100%捉え、特にチャンツに初めてチャレンジするときにも最適な作品(同書 p.20, 下線筆者)をご紹介します。

Tick, tock, tick, tock, what time is it?

School time, **study** time. It's **nine** o'clock.

Tick, tock, tick, tock, what time is it?

School time, **study** time. It's **nine** o'clock.

原文をマスター後、下線部を入れ替え、その時刻に自分たちは日頃何をするかを話題に、グループで発表させると生徒の興味を一層引くことができます。できればジェスチャー付きで発表させたいものです。ここで生徒の発表の1つをご紹介します。

Tick, tock, tick, tock, what time is it?

Dinner time, **TV** time. It's **seven** o'clock.

Tick, tock, tick, tock, what time is it?

Reading time, **video game** time. It's **eight**



o'clock.

上記の太字の部分にストレスを置いてリズムを作ります。尚、本とともにCDも発売されているので参考にされると良いでしょう。

筆者がチャンツを活用するようになったきっかけは *JAZZ Chants for Children* (CAROLYN GRAHAM, OXFORD UNIVERSITY PRESS) という本との出会いでした。CDも発売されていますが、筆者は生徒がより言いやすいように自作リズムをつけて授業で活用しています。筆者の創作したリズムについては、『授業づくりのアイデア』(樋口忠彦・高橋一幸編著、教育出版)の第3章2節に記しましたので参考にしてください。

また筆者自作のチャンツを授業内容と絡めて活用しています。例えば動詞の過去形を学習後、「Last Sunday を話題にしたチャットを1分間以上ペアで続けさせることが出来る」という目標を設定した場合、まず次のチャンツをマスターさせ、その後下線部を創作させ、受け答えが一問一答ではなく、深まりのあるものになるように指導を積み上げていきます。生徒たちは楽しそうにリズムに乗って、和気あいあいと練習を深めます。是非お試してください。

Last, last, last Sunday

Did you watch TV?

Yes, I did. I watched baseball on TV.

Last, last, last Sunday

Did you read a book?

Yes, I did. I read a comic book. It was fun.

Last, last, last Sunday